

会 議 録

1. 会議名	令和3年度 第3回糸満市立認定こども園在り方検討委員会
2. 日 時	令和3年11月30日(火) 19時00分から20時00分まで
3. 場 所	糸満市役所5階 5-d会議室
4. 委 員 (出席者)	金城(毅)委員、金城(満)委員、與那覇委員、山城委員、山田委員、 玉城委員、中村委員、金崎委員、小堀端委員、玉城委員、上原委員、 計11人
5. 事務局	保育こども園課：国吉課長、仲間係長、島添、山城
6. 会議の結果及び主要な発言	<p>1 開会 2 議事 (1) 最終報告書(案)について</p> <p style="text-align: center;">～事務局より説明～</p> <p>以下の資料に沿って説明。 資料3「最終報告書(案)(11～13p)」 資料4「各公立こども園の状況(案)(14p)」</p> <p style="text-align: center;">～説明終了～</p> <p>委員長 事務局からの説明についてご質問、ご意見ありましたら発言をお願いします。</p> <p>委員 「各公立こども園の状況」の兼城こども園の課題のところに、「在園児数に対して、園庭が他の公立園と比べて狭い。」とありますが、認定こども園における園庭の広さの基準と比べていかがでしょうか。</p> <p>事務局 面積の最低基準は満たしておりますが、在園児数の割合と比較した場合に他の5園の中で一番狭いということです。また、園庭の形が、小さい園庭と比較的大きめの園庭とが隣接している状態なので、一体的な利用ができない部分があります。</p> <p>委員長 その他にご質問ございませんか。例えば、計画書策定当初の意見書との関係性について、委員の皆さん、お分かりいただけますでしょうか。</p> <p>事務局 事務局より補足いたします。今回の再検証の内容につきましては、主に「1.市立園拠点園の再編について」の部分になりますので、それ以外の部分については、前回の意見書の内容を踏襲していきたいと考えております。</p>

委員長	確認ですが、意見書の「2～8」までの項目については、今回も同じように要望するということでしょうか。
事務局	そのとおりです。基本的にこれはどこの園が選ばれたとしても、行わなければならないご意見として受け止めておりまして、当然尊重していく必要があると思っております。
委員	<p>「各公立こども園の状況」の真壁こども園の課題のところ、保護者としては、地域の過疎化が原因でこども園が失われることに危機感を感じています。それが、モデル園だから残す必要があるという理由ではなく、農村部だからこそ、保育の場の確保が大事だと思います。例えば、「公私連携後もこども園は存続されるので大丈夫ではないか」という意見もあるかと思いますが、仮に撤退された場合、その後の地域の子ども達はどうすればよいのか、また、その保障をどう考えているのかという不安が拭えないので、そういった部分が課題だと感じています。</p> <p>糸満市内教育・保育施設等簡易マップを見ても明らかですが、農村部の方は園が3つしかありません。仮に、真壁こども園、喜屋武こども園が移行園になったとして、子ども達が少なければ、法人もそこで運営したがると思いますので、将来性が見えないまま、公私連携に移行していいものかと疑問を感じます。</p> <p>農村部の子ども達が、意見書に書いてある「同等の教育・保育内容を提供されるように図る。それが市立こども園の役割」の部分で、それらがしっかり確保されるのか、とても気になります。</p> <p>そういったことが、農村部の課題として上げられると思いますので、この内容も課題に追加して、現状を理解して頂きたいです。</p>
委員長	農村部における将来性の見通しや、懸念する部分を課題に追加できないかということですが、事務局はいかがでしょう。
事務局	<p>最初に計画を策定した時に都市部が選ばれた理由は、そこにあります。</p> <p>ご提案のあったことについて、委員の皆さんの同意が得られるのであれば、喜屋武こども園、真壁こども園については、運営の継続性というところで不安がありますので、「公私連携園に移行した後、撤退する懸念がある」というような表現で追記するかは、検討してもいいと思います。</p> <p>モデル園の部分については、子育て支援施設や学童などの複合施設なので、非常に魅力的な部分がありますので、課題としてはそのまま記載させていただきたいと考えております。</p>

委員	糸満南こども園と西崎こども園の課題で、ケータリングがありますが、公私連携移行後はどうなりますか。0歳児などのアレルギー対応の面で不安がありますので、自園調理になる可能性はありますか。
事務局	説明不足で申し訳ございません。糸満南こども園と西崎こども園で0歳児を預かる意味ではなく、どちらかを集約することによって生まれた人員で他の公立こども園の0歳児を預かるという意味になりますので、そこら辺を修正したいと思います。 ケータリングにつきましては、保護者説明会でも両園からご指摘がございました。本来、公私連携園の移行とは違う課題ですが、大きな声がありましたので、今後の募集の時にも意識していただきたいので、あえて課題として記載させていただいております。現時点で、明確な回答ができないのは恐縮ですが、きちんとその対応を考えなければならないと明確にさせる為に載せております。
委員長	報告書の内容について確認したいと思います。「資料 12p (2) 再検証後の市立園拠点園の再編について」の文言で「最終的な決定においては、～糸満市にとってより良い方向を追求した上で決定し推進すること。」となっております。これは、私たちの意見を聞いたうえで、最終的には決定して欲しいということで、前回の意見書にも書かれてたことと今回も同じ内容となっておりますので、これは是非、市長にきちんと伝えておきたいと思います。
事務局	今回発言された意見の確認をします。真壁こども園と喜屋武こども園の課題の方で、「公私連携園に移行した後、入所児童が少なくなることにより法人が撤退する懸念があります」というような表現を追記することでよろしいでしょうか。また、細かな表現は委員長と詰めさせていただきたいですが、よろしいでしょうか。
委員	質問ですが、将来的に農村部の人口が減少するというような、地域の出生に関するデータから立証することはできるのでしょうか。
事務局	はい、人口ビジョンを作成しております。真壁こども園、喜屋武こども園がある三和地域については、人口が減少していく傾向になっています。
委員	就学前の児童の人口減少が、そのシミュレーションで示されているということですか。
事務局	人口ビジョンは、就学前児童数を把握するデータではありません。

委員	児童数の減少というのは公立園をどうするのかとは別に、農村部に対する地域づくりの課題と思いますが、データに基づかない表現は避けて、他の表現をした方がよいと感じます。
事務局	実際に定員割れしている状況はあります。真壁こども園が 64%、喜屋武こども園が 53%で、公立園自体がすべて定員を割り込んでいますが、その中でもかなり少ない状況があるというところです。将来予測については、整備計画の中で5年後の計画は立てていますが、近すぎて将来予測として使うには難しいと感じています。
委員	この問題は、地域の方からは、定員がかなり割れて法人が運営に支障をきたし、閉園となった場合の課題だと思いますが、そうなった場合、法人は応募してくるでしょうか。過疎化が原因で閉園するという不安が保護者にあるというのが一つと、実際に応募する法人がいるのかということがあって、政策の整理は必要だと感じますが、いかがでしょうか。
委員	公私連携園にすることを反対しているわけではなく、移行後についても教育保育は公立と同じように質が保障されると説明がありましたので、それが持続されるのであればいいのですが、園児の減少で閉園になった場合に、例えばバスで子ども達を送迎するとか、新たに小規模保育園を設立する等、そのあとの計画があれば安心すると思います。
委員	確かに、民設民営型だとそういったこともあります。今回は公私連携型なので、そういった状況になったときの公の責任、市の責任というのがあると思います。
事務局	確定的な話は申し上げにくいですが、公私連携園というのはあくまでも民間が自主的に行う施設ではなく、公の選んだ法人が運営を行うものなので、仮に撤退となった場合、次の運営者を選定したり、また公ができるのかという話もあるかもしれませんが、さすがに地域を見捨てるようなことは難しいと思います。 ただし、やはり不安はありますので、法人運営が継続して安定的にできることを事務局としても望んでいますから、そこら辺は考えていく必要があると思います。そういった意味での意見をどのような表現になるかは分かりませんが、追記していきたいと考えております。
委員	例えば、「利用児童数が減少した場合においても安定的に運営できるかが課題である。」のような表現になるのでしょうか。

事務局	<p>そうですね。それを担保する仕組みが必要という表現になるかと思います。この辺の表現については、委員長と詰めさせていただいてもよろしいでしょうか。心配しているところは、事務局も十分に理解しておりまして、最初の計画はそこで都市部が選ばれた側面もあって、それはそれで課題があったというところですよ。</p>
委員	<p>そういった不安がありますので、そうなった時に、行政が後押ししているところが公私連携園ですと打ち出せば、公私連携のイメージアップにつながるのではないですか。</p>
委員	<p>細かい調整は事務局が行いますが、容姿を変えない範囲でお願いします。</p>
事務局	<p>分かりました。</p>
委員	<p>質問です。兼城こども園は隣に子育て支援センター「ぬくぬく」がありますが公私連携園になった場合、対象はこども園のみになりますか。</p>
事務局	<p>現在、支援センターの話はしておりませんが、将来的には分かりません。</p>
委員長	<p>他に質問がありませんので、進行を事務局に移します。</p>
事務局	<p>補足がございます。市長に報告する際には「各公立こども園の状況」で見え消しにしている部分については、削除して報告したいと思います。</p> <p>以上をもちまして、本日の議事が全て終了しました。ここで事務局より提案ですが、今回、取りまとめられた報告書等については、12月下旬頃に糸満市長へ報告する予定です。報告書等の修正部分や、市長へ報告する代表者については、金城毅委員長に一任したいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(委員全会一致) ありがとうございます。</p> <p>次にお知らせになります。先ほどお話した市長報告会については、その様子と併せて報告書等を後日、記事として市のホームページに掲載いたします。また、今後のスケジュールにつきましては、令和4年度に公私連携園運営事業者選定委員会を設置し、公募の仕様書作成から運営法人の選定までを行います。その時に、ここにいる委員の中から引き続きご協力をお願いすることもあるかもしれませんが、その際は、今一度お力添えをいただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは最後に、糸満市福祉部長 金城 満 より一言お願いいたします。</p>

福祉部長 事務局	～（各委員へお礼のごあいさつ）～ それではこれにて、令和3年度 第3回糸満市立認定こども園在り方検討委員会を終了いたします。お疲れさまでした。 <p style="text-align: right;">以上。</p>
-------------	---